

今を未来に

【子どもたちの様子から】

6月21日(水) 4年B組 人権総合学習全体研の公開授業

4年B組で、人権総合学習全体研修会を行いました。4年生の学習テーマは「命を守る～食と防災～」です。大地震の災害が起こった時、人々の生活はどうなるのか。避難所生活とはどんなものか。こうしたことを考えていたり、人と出会ったりすることを通して、人を大切にするために自分たちができることを考えていきます。

授業の前日、子どもたちは東日本大震災の体験手記を読みました。その中の出来事のひとつとして「避難所に避難してきた人たちの中に、自分たちで持ってきた非常食を自分たちだけで食べている人がいた。」ということが書かれています。この様子と重ねて、家にある非常食を持って来た子は食べる、そうでない子は食べないということを体験しました。そして、その時の自分の気持ちを書き留めました。

当日の授業では、この時の気持ちのちがいを出し合うことから始めました。お互いの気持ちを知ると、どちらの側にとっても「みんなで食べられる方がいい。」となりました。そこでみんなで食べられるものとして、小学校の防災倉庫にある非常食が紹介され、みんなで実際に分けて食べてみることにしました。でも、防災倉庫のものを食べてしまうわけにはいきません。そこでこの日は、コミュニティースクールの地域部会の方の協力で、特別に準備してもらったα米とリッツ(防災倉庫にあるものと同じもの)をみんなで分けて食べました。少ないながらも、子どもたちからは「全員が食べられてよかった。」という感想が出されることを予想していましたが、それはいい意味で裏切られました。ある子が「前と同じや。」と言ったのです。何が同じなのかをたずねていくと「だって先生が食べていない。」と言うのです。また「休んでいる人もいるから、それもやっぱり気になる。」と、気にかけている子もいました。人を大切にしているのだと驚かされました。担任から「今日は先生たちはいないものと考えて。」と言われると、子どもの中からすかさず「それなら最高!!」と返ってきました。

子どもたちの人を大切にする鋭い感覚や、分ける時に自分から行動できる人が何人もいる様子から、今までの人権学習の中で自然と身に付いてきている力が4年生にあるんだなあと感じました。

6月23日(金) 先生シャッフルの読み聞かせ

図書館まつりの期間中にある、先生シャッフルの読み聞かせがこの日行われました。私も藤井先生とペアになって2年A組へ、読み聞かせに行きました。「やったあ、藤井先生や。」の声で迎えられている様子に、子どもたちが先生シャッフルで誰が読み聞かせに来てくれるのかをとても楽しみにしていると感じました。と同時に、私は少しドキドキしてきました。

藤井先生が読み終わった後、子どもたちに180



度回転してもらって、私は「おこだてませんように」を読みました。主人公は1年生、2年生の子にとって同じような気持ちになったこともあるだろう、そう思ってこの本を選びました。読み終わった本は2年A組の本棚に置いてきました。自分でももう一度読んでみようと思つてほしいなあと思ったからです。

6月23日（金）3年A組 保々保育園4歳児との交流始まる

3年B組の幼稚園5歳児との交流に続き、3年A組の保育園4歳児との交流が、先週の23日と昨日26日に行われました。園児の様子をみていると、幼稚園と保育園の違いもあるかもしれませんが、1歳違うだけで随分とその様子が違いました。4歳の保育園児は、3年生にあれもこれもと、保育園での遊びを教えてください。もちろん3年生にも保育園出身の子もいて、保育園での遊びはよく知っているという子もいます。でも、中には初めて保育園の園庭に入つた子もいて、それを知ってかどうかはわかりませんが、



ジャングルジム、滑り台、ブランコ、日陰になった砂場、木製の小さなお家などを次から次へと紹介してくれます。その上、1人で2人の園児を相手にしている子は、2人の子が連れていきたい所が違ったり、遊びたいことが違ったりして、その両方をうまくできないか考えている様子もありました。小さい子と遊ぶことを通して、何を3年生の子どもたちが学んできたか楽しみです。

6月24日（土）職員玄関前で

職員の玄関前のパンジーの葉をほぼすべて食べつくした後、何匹かの幼虫が、さなぎになって、羽化を始めました。土曜日に水やりに行くと、ちょうどその日の朝に羽化したツマグロヒョウモンが今にも飛び出そうと、羽を何度も広げて準備をしていました。2年生の夏野菜と校長の畑、池周りの花やグリーンカーテンに水をやって再び戻ってみると、そこにはツマグロヒョウモンの姿はありませんでした。飛び立ったようです。



金曜日には、1年生の子が何人かでツマグロヒョウモンの幼虫を集めていました。パンジーをえさに入れてあげてねと伝え、実際に苗を虫かごに入れたのですが、どうなったかなあ。

リサイクル活動にご協力、ありがとうございます。

先週の木曜日から今週の木曜日まで、リサイクル委員会の子どもたちが呼びかけて、ペットボトル、キャップ、アルミ缶のリサイクル活動を行っています。委員会の担当の先生から、「校長先生、今回は子どもたちがたくさんこの活動に協力してくれています。そのことを学校だよりで伝えてください。」と話があるほど、たくさん集まっています。昨日の朝の段階で、四日市市の大きなLサイズのゴミ袋で、ペットボトルは4袋、アルミ缶は3袋、キャップは1袋集まりました。



また、ベルマーク回収箱をのぞくと、生活用品についているベルマークをビニール袋いっぱいになったものを入れてくれた子がいたり、エコパックンも前回より早くそろそろいっぱいになりかけています。自分たちの活動資金にもなるこれらのリサイクル活動に今後ご協力よろしくお願ひします。

リサイクル委員会の活動は、今回はこの木曜日まで続きます。そして、7月にももう1週間回収日が予定されているそうです。